

## 第 2 1 回 議会改革調査特別委員会 会議録

---

日 時 令和 8 年 2 月 1 2 日 ( 木曜日 ) 午前 9 時 3 5 分 ~ 午前 1 0 時 5 8 分  
場 所 臼杵庁舎議会棟 議会応接室

---

### 出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳 副委員長 梅田 徳男  
委員 川辺 隆 委員 芝田 英範 委員 安東 鉄男  
委員 甲斐 尊 委員 平川 幸司

---

### 欠席委員の氏名

委員 川辺 隆 委員 甲斐 尊

---

### オブザーバー

( な し )

---

### 説明のため出席した者の職氏名

( な し )

---

### 出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 小嶋佳希 書記 原 伸行 副主幹 工藤真里子

---

### 傍聴者

( な し )

---

### 協議事項

- 1 . 市民アンケート結果の検証について
  - 2 . 協議事項の整理について
  - 3 . その他
- 

午前 9 時 3 5 分 開議

## 協議事項

### 1. 市民アンケート結果の検証について

事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

市民アンケートの結果は以前配布しているが、今回新たに分類もしているなので、振り返りも含め、まず、資料の内容を確認してほしい。

（ 配付資料の確認 （ 5分程度 ） ）

○委員長（伊藤 淳）

資料を確認いただけただと思うので、協議に入っていきたい。

本特別委員会での協議は、令和8年3月定例会での報告で終了となる。議会改革として継続して実施すべき事項を、市民アンケートの結果をもとに、提案できればと考えているので、各委員から意見をお伺いしたい。

○委員（意見）

- ・公開性を高めるために行うべきと考えられるのは、YouTubeの生配信、委員会の放送などが考えられる。
- ・市民との意見交換は、市政報告会を行うべき。
- ・議会運営の効率性は、定数の削減又は報酬の削減が考えられる。
- ・政策立案については、研修を増やしていくことが求められると考える。
- ・議会の多様性を高めるためには、政務活動費や選挙公営制度を導入し、議員が活動しやすい状況を作るのが良いと思う。
- ・これまでやってきたことを継続してやっていくことが良いと思う。
- ・議会だよりについては、議員が編集委員を務めてやっているところが多いので、そのような方法で作成するのは一つの方法だと思う。
- ・議会の効率性については、議員定数削減の方向で行けば良いと思っている。
- ・議員の質を高めるためには、政務活動費を制度化して研修に参加しやすい環境を作り、議員個人で質を高めていくことも必要だと思う。
- ・選挙公営制度を導入し、立候補への負担を減らすことで、議員の多様性につながれば良いと思う。
- ・アンケートを通してみると、議会の内容を分かってもらっていないというのが、とりまとめられた一番大きな内容である。何をすることよりも、何が要因なのかをはっきりさせることも必要だと思う。
- ・議員が行うことについては、まず、一步として、議員が市民の近いところで活動し、その姿を見せるのが必要。議会との距離を縮めていくために、そのパイプ役となる、自治会との意見交換を行うべきだと思う。
- ・議会の多様性を高めるのは、議員と共に市民も立候補が可能であるという意味で責任があ

るところなので、議員との議論などを通して、その対応となると感じた。

- ・ YouTube生配信が先だとは思いますが、インスタなど若い世代が興味を持つきっかけになり得るものに、短い動画などを掲載していくことも検討できればと思った。
- ・ 今回の委員会を振り返った時に、意見交換などのために、外に打って出るとというのが不足していた。自治会の人を呼び込むことは、定数等特別委員会の中で行ったが、今後は現地に出ていくことが必要。
- ・ 議員を見たことがないという意見もあったので、現地に出て行って顔を出すことも重要だと思う。
- ・ 議会体験会や議場コンサートなどを通して、中学生やその親世代とつながりを作っていくことも重要だと考えている。
- ・ 市民アンケートについては、声を直接聞くことができ、その対応として何をするのか検討する際にも目安となるので、毎年ではなくても、定期的な実施できれば良いと思った。

○委員長（伊藤 淳）

市民アンケートの結果を活かして、今後の議会改革に繋げていくため、特別委員会で協議した内容については、これまでの議論をとりまとめ、全員議員に報告して、追加の意見を加え、取りまとめたものを最終的な報告としたい。

- 【協議結果】**
- ・ 今回の委員の意見を取りまとめ、委員会の意見を次回確認。
  - ・ 議員間討議会を開会日（3月3日）に実施し、委員会の意見を全議員に報告し、最終的な取りまとめを行う。

## 2. 協議事項の整理について

### (1) 議会だより

事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

今までやってきた内容について、検証しないと次に進めないと思うので、これまで掲載記事案の確認等を行ってきた梅田副委員長にご意見をお伺いしたいと思います。

○副委員長（梅田徳男）

掲載記事の確認といっても、事務局が構成した文章を、全体的な構図や内容について、確認して、特に問題なければ前に進めてもらうという役割を担っていただけ。各委員長からの情報がどこまで行ったかは把握していないが、事務局からは十分な資料を作成いただいている。現在は、事務局に尽力いただいているが、議員で編集するとすれば検討が必要だと感じた。

○委員長（伊藤 淳）

編集の流れとしてはスムーズに進んでいるということによいと思う。今後の取組につい

での意見をお聞きしたい。

○委員（意見）

- ・市報で3ページ掲載するのであれば、議員からするとスムーズな流れとなっており十分だと思うが、議会の中で議会だよりを充実させようと話になれば、議員で編集委員を作って、掲載内容や発行回数も含め、検討すればよいのではないかと思う。
- ・事務局の担っている部分を議員ができるのかという部分はあるが、事務局には負担があるかもしれないが、いい議会だよりができていいのかと思う。

○委員長（伊藤 淳）

現状の実施内容であれば、取組内容を継続するという一方で、発行形態を市報への掲載ではなく、別冊として作成するか等、議会だよりの在り方については、継続して検討することとしたい。当面は、現状の実施内容とするので、常任委員会の委員長は、掲載記事や関連する写真の提供などの協力を行うようお願いすることとしたい。

- 【協議結果】**
- ・現状の掲載内容（市報3ページ）及び実施方法を継続する。
  - ・議員（主に常任委員会委員長）は、作成に積極的に参画する。
  - ・議会だよりの在り方については、継続して検討する。
  - ・令和8年度の取組については、提案のとおりとする。

## (2) 議場コンサート

事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

議会に来てもらう、呼び込む手段としては、かなり好評で有効だったと感じた。継続していきいたい、また、演者についても、議会で狙った層を呼び込むために、議会で選定したい。年1回程度実施していければと、以前の振り返りで、そのような結論となったと思うが、まとめとしてもそのようにして良いか。

○委員（意見）

（ 「はい」の声あり ）

○委員長（伊藤 淳）

令和8年度については、12月定例会で実施できるよう準備を進めていく。演者の選定等を行っていくこととしたい。実施日については、演者と調整して決定することとしたい。

事務局（原 伸行）

実施日について、確認しておきたい点があるので、ご協議いただきたい。

実施日は議会を開会する日とするか、休会日とするか。また、議会としての希望する開催日については、議会の告知などを踏まえ、開会日とするなど、優先順位があるとよいかなど感じていたので、その点は、実施経験を踏まえ、方向性は決めておくとよいと感じましたので、ご協議願います。

○委員（意見）

- ・時間的な制約や事務局の負担があったとしても、実施日は定例会の開会日であれば、傍聴者への定例会の日程告知もでき、議場コンサートの余韻に浸り、よい流れで定例会が開催されることとなると思う。
- ・演者の都合で決めることになるが、可能であれば開会日が良いと思う。休会日より、本会議につなげることができれば良いと思う。
- ・休会日に行く意義は整理できないように思うので、開会する日に行くべきだと思う。

○委員長（伊藤 淳）

日程については、演者と協議し、決定することとなると思うが、今後実施していく中で定まっていけば良いと思う。

- 【協議結果】**
- ・来年度以降も、継続して実施する。
  - ・演者は、議会で狙った層を呼び込むため、議会で選定することとする。
  - ・実施日は、定例会の開会日とし、演者と調整し決定する。
  - ・令和8年度は、12月定例会に実施するよう準備。

### (3) 議会体験会

事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

体験会を実施して、今後継続するに当たってご意見をいただきたい。

○委員（意見）

- ・今回の北中学校は、2クラス72名だったので、1日36名の2日間で実施した。西中学校を対象として行う場合は、より人数が多くなるが、来年度の実施に当たり、どのように受け入れるよう想定しているのか。

事務局（原 伸行）

- ・実施してみて、1回で実施できる人数は、今回程度36名が最大かなと感じた。学年の人数が多い場合も、今回のようにクラスごとに受け入れるようにすれば、実施できるのではないかと考えている。逆に、一学年が18名以下であれば、2校同時に実施は可能だと考えている。
- ・今後も中学3年生を対象とするならば、年に何回程度実施することとなるのかなど、考えて行う必要があるのではないか。

事務局（原 伸行）

- ・実施に当たっての準備物・負担は、事務局の準備を除くと、今回は、議員にご参集いただくことと、学校から市役所までの送迎のみだった。令和8年度については、全校を対象とするほど準備はしていない。
- ・今後の検討事項としては、野津中学校など移動に時間がかかる場合の対応もあると思う。

○委員長（伊藤 淳）

・学校側の意向を確認した上で、議員が学校に出向く形も検討できれば良いと思う。

委員長（伊藤 淳）

令和8年度については、中学3年生を対象として、希望を募り実施する。全校での実施については、今後の実施を踏まえた方向性として持ち、議員が学校に出向く形も検討できればと思う。

**【協議結果】**

- ・来年度以降も、継続して実施する。
- ・令和8年度は、市内の中学校3年生を対象に、10月～11月にかけて2クラス程度、実施できるよう調整を図る。
- ・当面は、中学校3年生を対象として実施。議場での実施を主とするが、出前での実施も検討。また、市内の中学校3年生全員を対象として、毎年度実施するかは今後検討。

**3. その他**

- ・次回開催日時の確認 第22回 2月18日（水）9時30分から  
それ以降の開催日程については、今後協議。

午前10時58分 閉会

---

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和8年2月12日

議会改革調査特別委員会

委員長 伊藤 淳